

## 隊友会の目的

- ・国民と自衛隊とのかけ橋
- ・防衛意識の普及・高揚
- ・慰霊顕彰事業・地域社会の健全な発展に貢献
- ・退職者等の福祉の増進

# 県央ニュース

## 発行責任者

公益社団法人 隊友会  
神奈川県隊友会県央支部  
支部長 藤本 正則  
090-4521-9673  
fuji0362@jcom.zaq.ne.jp

## 新年のご挨拶

支部長 藤本 正則



令和八年の  
新春を迎え、会員  
の皆様に  
は恙なく新

年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年の出来事を振り返りますと、国際的には「ロシアによるウクライナ侵攻」から三年が経過し、今年の二月には四年目となり、停戦合意は依然として不透明であります。多くの人命が失われ、インフラを含めた物的被害は甚大なものがあります。米国のトランプ大統領は就任後1週間で停戦させると豪語しましたが、いまだに停戦に至っていません。それよりトランプ関税により世界経済はかき乱されています。その隙に乗じて中国はレアアースを武器に世界各地に勢力を伸ばそうとしています。一方で「イスラエル・ガザ戦争」「スーダン内戦」「ミャンマー内戦」等々、世界は混沌とした情勢にあります。更に東アジアでは、中国の動向が気になります。高市

総理の台湾有事に関する発言に端を発し、中国の情報戦が活発化するとともに日本への渡航自粛、日本産海産物等の輸入禁止を含む恫喝的な戦狼外交が続いています。

国内に目を転じますと、高市新政権の誕生でしょう。日本政治史上初めての女性首相であります。その手腕に期待することもあると思いますが、やや勇み足が気になります。政治の世界はよくわかりませんが、ちよつとした発言が真意とは別に独り歩きすることが多々あります。高市総理の台湾有事における発言がその例です。その一言が中国を刺激し習近平氏の意を忖度し、各レベルで各種の対日批判等を展開しているのは会員皆さんもご存じのとおりです。

航空自衛隊のスクランブル機（領空侵犯処置行動）に対するレーダー照射事案もありました。空母から発艦した中国の戦闘機はあつという間に日本領空に達します。スクランブル発進は領空を守る航空自衛隊の責務の一環です。昨年は各種災害（台風、豪雨、地震、火山活動、火災等）が多発しました。被害にあわれた方々に心からお見舞い申

し上げます。その他、家屋の浸水・倒壊、道路の寸断、水道や通信設備等への影響も計り知れません。また山林火災も各地で発生しました。二月には岩手県大船渡市で、三月には岡山県や愛媛県、宮崎県で発生し、関東地方では群馬県妙義山、神奈川県では日向山の山林火災が発生し自衛隊が災害派遣に出動しました。

自衛隊関係では三月二十四日に「統合戦司司令部」が新編され、初代司令官に南雲憲一郎空将が任命されました。現代の作戦様相は陸海空域のみならず、宇宙やサイバーといった領域にも拡大していることから、実力組織である自衛隊の今後の統合運用に期待したいと思います。

今年も国民と自衛隊の懸け橋となる隊友会会員として防災協定に基づく地域社会への貢献、自衛隊の根幹をなす隊員募集協力及び隊員家族支援や安否確認等に邁進していきたいと思ひます。当支部の会員は、任期満了後の方々から定年後三十年以上を経過された正会員、あるいは隊友会の設立趣旨に賛同された特別会員の方々を含め約四百名の会員がおられます。

会員皆様にとりましてもいろいろな出来事があったと思ひます。出来事の受け止め方は人それぞれです。昨年の出来事を参考に、継続すべきことは反し、今年も健康で元氣な毎日をご過ごされることを祈念いたします。

本年の県央支部関連の行事としては、会員皆様の安心・安全を最優先としながら各種行事を実施していきたいと考えております。案内がありましたならば、奮ってご参加ください。また昨年と同様に会員減少の歯止めと新規会員の獲得に重点を置いた活動を実施していきます。そのためには隊友会の魅力化と会員相互の親睦を深め、「入会してよかった！」と思われる組織にする必要があります。支部役員は言うまでもなく、会員の皆様からのアイデアをお待ちしています。

令和八年が会員皆様及びご家族の方々にとりましてこの上ないご多幸、ご盛隆の年であられることを祈念申し上げます。



# 謹賀新年

支部長兼事務局長

藤本 正則

副支部長兼総務部長

中村 章

副支部長兼事業部長

浅野 雄三

副支部長兼経理部長

宗 潤二

副支部長兼広報部長

青海 温子

副支部長兼防災部長

鈴木 剛

理事役

藤本 慎二郎

齊藤 司

恩蔵 豪臣

平井 功

井上 寿夫

山下 信好

竹内 諄吉

黒岩 春彦

二階堂 裕

監事役

按田 卓郎

福田 弘明

顧問

関 隆三

相談役

佐藤 誠

## 部隊指揮官

航空集団

司令官 海 将 金嶋 浩司

幕僚長 海将補 高田 哲哉

第51航空隊

隊司令 1海佐 酒井 尚久

第61航空隊

隊司令 1海佐 大菅 伸英

航空管制隊

隊司令 1海佐 小俣 泰二郎

第4航空群

群司令 海将補 鈴木 克哉

首席幕僚 1海佐 鷺澤 公一

第3航空隊

隊司令 1海佐 加藤 太輔

第4整備補給隊

隊司令 1海佐 木村 孝行

厚木航空基地隊

隊司令 1海佐 北原 浩一

硫黄島航空基地隊

隊司令 1海佐 片山 稔文

その他の部隊

航空プログラム開発隊

隊司令 1海佐 中村 浩之

厚木システム通信分遣隊・厚木警務分遣隊については、割愛致します。

第4施設群長兼座間駐屯地司令

1陸佐 橋口 尚徳

座間駐屯地業務隊長

2陸佐 白樫 光寛

## 新年のご挨拶

海将補 鈴木 克哉



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

中は、隊友会の皆様をはじめ、地域

の皆様方より第4航空群の活動に対し、温かいご支援とご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑な状況に直面しています。ロシアによるウクライナ侵攻は依然として終息の兆しを見せず、国際秩序を根底から揺るがす事態となっております。また、中国は海空域における活動を活発化させ、東シナ海や南シナ海において一方的な現状変更の試みを続けております。さらに北朝鮮は、弾道ミサイルの発射を繰り返し、我が国の安全と国際社会の平和に対する重大な脅威となっております。こうした中であって、我々海上自衛隊の責務はこれまで以上に重く、国民の負託に応えるための不断の努力が求められております。

第4航空群は、我が国周辺海域における警戒監視任務、有事への対処を主軸として、我が国の平和と独立を守る最前線に立っております。また、近年頻発する自然災害に際しては、情報収集や急患輸送等、国民の安全・安心を守るための任務にも全力で取り組んでおります。これらの任務を確実に遂行するため、各隊員は高い士気と練度を維持し、常に即応態勢を整えております。

一方で、全国的に自衛官の採用環境は厳しい状況が続いております。将来の防衛力を担う若者の確保は喫緊の課題であり、国防の根幹にかかわる重要な問題です。そのためにも、隊友会の皆様が長年培われてきた経験や地域社会との絆を通じて、自衛隊の活動意義や魅力を広く発信していただくことは我々にとって欠かせないものとなっております。

今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、神奈川県隊友会県央支部の今後益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

(海上自衛隊第4航空群司令)





# 着任挨拶

1等海佐 鷲澤 公一



公益社団法人  
隊友会の皆様  
には、平素か  
ら海上自衛隊厚  
木航空基地、とりわけ

第4航空群に格別のご支援、ご厚情  
を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、10月10日付で第4航空  
群司令部首席幕僚として着任しまし  
た鷲澤です。厚木航空基地勤務は初  
めてですが、地域の皆様との  
関係をより深化しつつ、固定翼哨戒  
機部隊の中核を担う第4航空群の職  
務を全力で遂行してまいります。

さて、我が国を取り巻く安全保障  
環境は戦後最も厳しく複雑多様化し  
ております。第4航空群は、こうし  
た情勢の中で、我が国周辺海域の警  
戒監視や災害派遣などの任務を日々  
粛々と遂行しております。引き続き  
国民の安心と平和を守るため、隊員  
一人一人が誇りと責任を胸に努力を  
重ねてまいります。

引き続き、鈴木群司令の指導の下、  
第4航空群は精強で即応性に富み、  
活気溢れ信頼される部隊を目指すこ  
とにも、これからも地域の皆様と隊  
員が一体となった基地でありますよ  
う一層努力してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りま  
すようお願い申し上げますとともに、  
神奈川県隊友会県央支部の今後益々  
のご発展と会員の皆様のご健勝を祈  
念いたしまして着任の挨拶とさせて  
いただきます。

【プロフィール】

出身地・・・愛知県

職 種・・・固定翼操縦士（P-3C、US-2）

着任年月日・令和7年10月10日

前配置・海上幕僚監部

総務部総務課 広報室長

（第4航空群司令部 首席幕僚）



# 年頭挨拶

海老名市長 内野 優



明けまして  
おめでとう  
ございます。

隊友会県央支  
部の皆様におか  
れましては、健やかに新年をお迎え  
のことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から国民と自衛隊の架け  
橋として、今日の日本の平和と安全  
にご尽力いただいていることに対し、  
深く敬意を表します。

さて、昨年を時系列で振り返りま  
すと、鹿児島県のトカラ列島では、  
6月から7月の約2カ月間にわたり  
震度4（最大震度6弱）を超える群  
発地震が発生、島民は不安と戦いな  
がらの生活でしたが、地震の終息が  
見込めず希望者はフェリーでの島外  
避難する事態となり島民の平穏な生  
活を奪いました。

また、7月に発生したカムチャツ  
カ半島地震（M8.7）では、太平洋  
沿岸を中心に22都道府県に津波警  
報が発表され、一時200万人以上  
が炎天下の中、高台に避難するなど  
日本全土が津波への恐怖と緊張感に  
包まれました。

更に、伊豆半島では、10月に台

風22号・23号が立て続けに接近  
し、特に八丈島では風速54メー  
トルの暴風により電柱が倒れ、学校体  
育館や民家の屋根が吹き飛ばされる  
とともに、記録的豪雨により土石流  
が発生、避難者の避難している公民  
館に流れ込む等の被害が発生しまし  
た。その後も一カ月以上にわたる断  
水をもたらした住民の日常生活に大  
きな影響を及ぼしました。

老朽化したインフラの事故も多発  
しました。特に1月に発生した埼玉  
県八潮市での下水道管陥没事故では、  
尊い命が失われました。道路の封鎖  
が長期化するとともに、周辺住宅の  
異臭への問題も解決に至っていない  
現状にあり、全国で老朽化したイン  
フラ管理のあり方が問われた1年で  
もありました。

一方で、本市においても、5月か  
ら10月にかけて、集中豪雨や台風  
の接近が予想され、情報連絡会を開  
くなど緊張感の高まる日もありまし  
たが、幸いにも大きな被害はなく、  
避難所の開設にも至らない状況であ  
りました。

本市では、いつ起こるかかわらな  
い災害に向け、各種訓練や資機材の  
整備等、今できる準備を着々と進め  
ております。昨年6月には陸上自衛  
隊第4施設群の参加も得て、令和7  
年度災害対策本部訓練を開催し、大  
規模地震発生時の対応や自衛隊や警  
察等との連携について確認いたしま

した。また、9月には市内32カ所の避難所予定施設において市民も参加しての避難所運営訓練を行い、避難時の留意事項の確認や宿泊スペースの設置、簡易トイレの組み立てなどの訓練を行いました。

本市は、今年、市制55周年の節目の年を迎えます。14万人を超える市民が丸となって自分の市は自分で守るという強い意志の下、今後も安全安心なまちづくりを進めて参りたいと考えております。

激甚化する災害対応はもとより、わが国を取り巻く安全保障環境の厳しさが増している中、国民の生命・財産を守る上で、自衛隊の皆様が存在は不可欠であります。

県央支部の皆様には、国民と自衛隊の架け橋として引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって本年もすばらしい年でありますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

（特別会員）



新年度イメージキャラクター「えびな」

## 年頭あいさつ

厚木市長 山口 貴裕



神奈川県隊友会

謹んで  
新春の  
ご挨拶  
を申し  
上げます。

県央支部の皆様におかれましては、日頃から国民と地域のために自衛隊の架け橋となつていただくとともに、防衛及び防災施策、並びに地域社会の健全な発展に向けて御尽力をいただいていることに心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国各地で地震・台風・豪雨などの自然災害が発生し、地域防災の重要性が改めて認識されました。12月に発生した厚木市と伊勢原市にまたがる日向山の山林火災においては、消防隊による消火活動が難航する中で、自衛隊の皆様にも多大なるご支援をいただき、大変心強く感じた次第です。

本市におきましても、防災力の向上は重要な課題の一つであります。自助・共助の取組において、家庭での備えの啓発や自主防災組織の強化、実践的な防災訓練の実施などに取り組むとともに、公助の取組においては、避難所の環境改善や物資供給体制の構築、公共施設の耐震化など、災害に強いまちづくりの推進に努めているところでございます。

一方、国内外の情勢を見ても、多様化・複雑化する危機が顕在化しており、安全保障の観点からも地域社会の連携と強靱性がますます求められる時代となっております。皆様が築かれてきた自衛隊OBとしての技量と人脈は、こうした環境において地域の安定を支える大きな力となるものです。本市といたしましても、引き続き、皆様との連携を深め、安全で安心な地域づくりに取り組んでまいります。

新しい年を迎え、防災・教育・福祉・地域振興など、さまざまな分野において施策を前進させ、安心して暮らせる地域づくりをさらに推進してまいります。行政の力だけでは成し得ない課題も多くありますが、皆様をはじめ、地域の方々と共に歩むことで、より強く温かい地域社会を築いていけるものと確信しております。

結びに、神奈川県隊友会県央支部の益々の御発展と皆様方の御健勝を、さらには自衛隊の皆様の方々の御活躍を心より祈念いたしましたして、新年のあいさつとさせていただきます。

（特別会員）



## 年頭挨拶

綾瀬市長 橘川 佳彦



神奈川県隊友会  
県央支部の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、平素より綾瀬市政の推進にご理解とご協力を賜るとともに、国民と自衛隊の懸け橋として我が国の平和と安全にご尽力いただいていることに心より感謝申し上げます。

さて、昨年日本列島はさまざまな自然災害に見舞われた年でした。春先の全国各地での林野火災では、地球温暖化の影響が指摘される乾燥とこの時期特有の強風があいまって、いったん鎮火しても飛び火して再燃するなど、多くの住民が避難を余儀なくされました。また、6月末に始まったトカラ列島群発地震では、トカラ列島では初めてとされる震度6弱を観測したほか、一部の住民が島外に避難するなど生活に影響がでました。

風水害においても、台風の影響で、



静岡県では国内最大規模の竜巻が発生し、死傷者が発生するとともに多くの家屋等に甚大な被害が出ました。また、八丈島では台風直撃の影響により、多くの建物とライフラインが大きな被害を受けるなど、災害大国である我が国は、大地震への備えのみならず、地球温暖化がもたらす風水害の激甚化に対する備えも忘れてはならないことを痛感させられた一年となりました。

一方、世界に目を向けますと、ロシアによるウクライナ侵攻は関係国の戦争終結に向けた努力が続けられているものの依然として戦闘が継続しております。また、パレスチナ武装勢力とイスラエルの武力衝突についても、昨年10月に「ガザ紛争終結のための包括的計画」に基づく第一段階の合意、いわゆる“停戦合意”に至りましたが、依然として予断を許さない状況が続いております。

我が国周辺におきましても、昨年11月、中国国防省は、中国軍3隻目の空母となる「福建」が就役したことを発表しました。これまで米国空母だけが実用化に成功していた電磁式カタパルトを装備した初の中国空母であり、戦力化されれば洋上における航空兵力の運用能力が飛躍的に向上することから、我が国を取り巻く環境はこれまでになく一層厳しさを増していくものと考えられます。こうした中、当市におきましては、

大きな被害をもたらす災害などは、幸いにして発生いたしませんでした。しかしながら、自然災害はいつ発生するか分かりません。また、国民保護法で想定される事態についても、事前に予測できたとしても、十分な備えができない事態も考えられます。いざれにしましても一度、大災害が発生した場合には、市がなし得る対策には限界があり、災害派遣要請など自衛隊や隊友会の皆様の御支援、御協力が不可欠でございます。

自衛隊の皆様には、これまでも国民の生命、財産を守り、自然災害や世界情勢への対応など、御尽力いただいているところであり、また、隊友会の皆様には、市民と自衛隊の懸け橋として、地域社会の発展に寄与いただいているところでございます。

今後とも引き続き、御協力賜りますようお願い申し上げます。神奈川県隊友会県央支部の益々の御発展と皆様の御健勝と、自衛隊の皆様の新年のあいさつとさせていただきます。

（特別会員）



（イメージキャラクター）

## 新年のご挨拶 3等海佐 明神 忠雄

新年明けましておめでとうございます。

隊友会の皆様におかれましては、平素から自衛官の募集広報に多大なご支援を頂き心よりお礼申し上げます。

さて、日本の安全保障環境は戦後最も厳しい状況にあり、現在、防衛力の抜本的強化として様々な防衛力整備が実施されておりますが、その根底は人であり、「隊員」なくして防衛力の強化は不可能であります。人材確保における処遇改善として、生涯年収向上や生活・勤務環境の改善等にも取り組んでおりますが、まだ募集環境が劇的に好転するまでには至っておらず、引き続き厳しい状況にあります。厚木募集案内所として、各種見学会や説明会のほか、市街地広報等を継続的に実施し、地道に自衛官の「やりがい」や「魅力」を発信するとともに広報官は懇切丁寧かつ粘り強く対象者と接し、様々な方々のご支援、ご協力を賜りながら、今年度の目標に対し「あと一歩」というところまでまいりました。所員一同、最後まで諦めることなく、強い気持ちとチームワークを大切に

責務の完遂に努めてまいります。

令和8年を新たに迎えました。が、昨年は神奈川地方協力本部が70周年を迎え、今年は新たな一歩となる年であります。厚木募集案内所として、引き続きにはなりますが「ワンチーム」、「オール神奈川」の精神をもって、自衛隊・自衛官の魅力を発信し続け、厳しい募集環境を乗り越える所存であります。本年も皆様方の変わらぬご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、神奈川県隊友会県央支部の益々のご発展と、会員皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

（自衛隊厚木募集案内所長）



# 殉職隊員追悼式

## 厚木航空基地

令和7年度厚木基地追悼式は、10月6日1030～1120の間、海上自衛隊厚木基地体育館脇の殉職隊員慰霊碑前において、鈴木克哉第4航空群司令執行の元厳かに執り行われました。

式典は好天に恵まれ、故宇野1尉ご家族様、金嶋航空集団司令官、厚木基地所在部隊指揮官、幹部海曹士代表、近隣の橘川綾瀬・大和市長、斎藤綾瀬市会議長、佐々木神奈川県隊友会会長、隊友会県央支部長代理、畠野湘南水交会会長ほか会員2名、大槻県央家族会支部長、水谷大和家族会支部長、入田厚木基地協力会等の来賓約70名が参列、殉職された隊員の方々に哀悼の誠を捧げました。式典は、「儀仗隊敬礼」「黙祷」の後、鈴木群司令の執行者追悼の辞その後執行者・ご遺族・来賓・隊員の順に献花、儀仗隊敬礼・弔銃発射が厳かに執り行われ、最後にご遺族の哀切なる謝辞で滞なく終了しました。

（福田監査役記）



# 餅つき大会

## 厚木航空基地にて開催

「厚木基地餅つき大会」は、米海軍との交流行事としてコロナ関連で一時中断した時期があったが、今年度も12月3日1700～1900の間、海上自衛隊厚木基地体育館において、鈴木第4航空群司令主催で開催されました。

金嶋航空集団司令官、厚木基地所在部隊指揮官、主要幹部・幹部海曹士代表、招待者として米軍厚木基地司令官をはじめとする主要幹部及び

家族等関係者、綾瀬市選出の綱嶋県会議員、橘川綾瀬市長・古谷田大和市長・佐藤座間市長及び議員並びに自治体の関係者等、藤本隊友会県央支部長、畠野湘南水交会会長、大高和和市長、厚木基地協力会会長、入田厚木基地協力会会長、OB会員等約350名が出席、盛大に催された。

桜が丘駅から基地体育館までの送迎マイクロバスが運航されスムーズに会場に到着しました。

会場入り口で名札受領、レシービングラインで鈴木群司令夫妻の出迎えを受け招待客等が続々入場、適宜立食形式のテーブルに就き、ドリンクコーナーで好みのウエルカムドリンクを受け取り、開会を待ちました。

鈴木4空群司令は、新年を迎える「餅つき」の由来、我が国を巡る安全保障環境、米軍との友好、基地周辺自治体への感謝等々の主催者挨拶に続き、米軍基地司令官の安全保障関連、海上自衛隊・基地周辺自治体への友好と感謝等々の挨拶、綾瀬・大和市長の挨拶に続き、各市会議員並びに自治体の関係者等、藤本隊友会県央支部長、畠野湘南水交会会長、入田厚木基地協力会会長等の紹介がされました。

その後、和やかな雰囲気の中で金嶋空団司令官・鈴木4空群司令・米海軍厚木基地司令官・綾瀬・大和市長等々による鏡割りで開会した。鏡割りの後しばらくして、鏡割りメンバー等



（福田監査役記）

基地剣道部部員に模範の型・打ち込み稽古等の展示、及び阿波踊り連による元氣一杯・澆刺とした男踊り・可憐な女踊り等で会場の雰囲気も最高潮に達し会場の雰囲気を一気に加速、大いに盛り上げ会場は拍手喝采、一気に宴会モードとなりました。

また、英語・日本語での懇談を深め日米友好の輪がいたるところで広がり、あつという間の素晴らしい2時間でした。



## 神奈川県隊友会新ホームページ

神奈川県隊友会のホームページがリニューアルオープンしました。県央ニュースのカラー版もこちらからご覧になれます。

<https://www.taiyukanagawa.com>

## 令和8年

# 入隊入校予定者激励会

1. 期 日 令和8年2月23日（月・振替休日）
2. 時 間 14：00～16：00
3. 場 所 厚木商工会議所：厚木市栄町1-16-15  
本厚木駅から徒歩約10分
4. 会 費 ￥7,000
5. 服 装 自由
6. 申込み
  - (1) 連絡先：事務局長
  - (2) 電 話：090-4521-9673
  - (3) メール：fuji0362@jcom.zaq.ne.jp

# 厚木募集案内所からのお知らせ

## 2026年新年号

**陸海空自衛官**

**令和8年4月入隊、まだ間に合います!!**

**「こたえがここでした」**

**「疑問、全部聞けます。  
あなたの為の個別ガイダンス」**



**WHY**

将来の進路を考える方へ。

自衛隊という選択肢、知っていますか？

**何となく自衛官、自分探しの自衛官!**

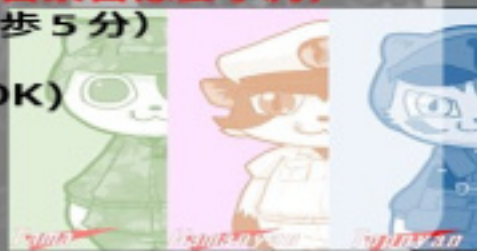
日時：毎日9時から16時（予約不要、土日祭日は要予約）

会場：自衛隊厚木募集案内所（本厚木駅徒歩5分）

対象：高校生・大学生・専門学生・  
自衛隊に興味がある方（保護者同伴OK）

内容：自衛隊の仕事、役割  
採用制度と進路の選び方

お問い合わせ：自衛隊厚木募集案内所



防衛省・自衛隊 神奈川地方協力本部

**厚木募集案内所**

〒243-0018 神奈川県厚木市中町2-6-24はてい屋2ビル3階  
TEL/FAX: 046-400-2486



### 編集後記

△ 1年が経つのは早いものですね。つい先日令和7年の新年号を編集していたと思つたら、今度は令和8年の新年号の編集です。後期高齢者になると時のたつのを早く感じるのは編集子だけであらうか？

△ 役員が高齢化し、若手の役員候補者の獲得に苦労しています。会員の方々に「よし役員になってやろう!」と意気込みのある方はご一報をお願いします。昨年は1名の方が、役員になってくれました。

△ 毎号であります編集担当者としては、原稿集めに苦労します。原稿は3月、6月、9月、12月の中旬までに送付頂ければ掲載可能です。内容に制限はありません。ご意見・紀行・趣味・近況等々、何でも構いません。会員皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

編集子

